

(令和2年12月26日)

12月25日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内144例目(県内194例目)となる感染者が確認されました。

この方は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により、また調査により接触者が把握できていることから、公表を差し控させていただきます。

12月21日に38度台の発熱があり、その後、発熱が継続したため、25日に市内の医療機関を受診しておられます。同日、紹介により市内の別の医療機関を受診され、PCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

患者は、現在保健所の指導の下に自宅で待機し、本日26日に、感染症対策を講じた医療機関に入院予定です。

現在、38度台の発熱はありますが、軽症です。

行動歴調査および濃厚接触者の調査を実施しており、発症日2日前以降の感染可能期間に、お仕事などはされていないこと、また、発症2週間前にさかのぼった期間において、県外への移動歴や会食の機会などは確認されておりません。

まずは接触があった方の調査を進め、必要に応じた幅広の検査を行い、感染拡大の防止を図ってまいります。

国内の新規感染者数は、過去最多の水準が続き、県内でも連日新規感染者の発生が確認されています。松江市においても最大限の警戒が必要な状況となっています。

学校等も2学期の終業式を迎え、冬休み、年末年始のお休みに入られるご家庭も多いことと思いますが、人の移動などにより感染のリスクが高まることも考えられます。

市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「換気と加湿」に引き続きお取り組みいただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者、医療従事者等を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。